

令和2年度 あおぞらなないろ園 学校関係者評価報告書

調査対象 : 保護者(施設アンケート結果90人)、

保育・給食・保健部門・事務等全職員(自己評価結果30名)

調査方法 : 上記保護者、職員の評価資料と経営、教育・保育内容の説明及び施設見学による、

学校関係者評価委員6名の評価結果です。

学校関係者評価結果【3段階評価:A・・・よい B・・・概ね良いが一部検討を要する C・・・改善を要する】

評価項目	領域	学校関係者評価 (訪問日)11/27 (評価者)学校評価委員6名			
		コメント: (○成果 ▲課題)	3段階評価	今後の取り組むべき課題	
1	教育・保育目標について	子供達の姿を踏まえた教育・保育目標、認定こども園としての重点目標が設定されていますか。	○園長先生からご説明いただいた、3つの重点に沿った取組がしっかりと運営に反映されていると感じました。 ○目標に、同感と信頼がおけるため、安心して子供を預けられます。 ○アンケートで意見があった時等、改善して下さり助かります。 ○自然との触れ合いが多いのですばらしいと思います。	A	●自然豊かな四ツ小屋地区での施設運営も2年目。認定こども園としての私達の取り組みが、子供達一人一人の成長の健やかな歩みとなれるよう、今後も取り組んでまいります。 ●保護者の皆様の貴重な意見を取り入れながら、職員一丸となってより良い実践を目指します。
		目標は、園や地域の特色を生かしていますか。		100%	
		目標は、社会の要請や保護者の願いを反映していますか。		B 0%	
2	教育・保育に対する指導について	日頃の活動は「指導計画」を基に実践しておりますが、子供達の成長発達に即した活動が見られていますか。	○子供達が、楽しそうに笑顔で過ごしている様子が何よりです。職員のみなさんの努力の賜です。 ○季節によって保育室の雰囲気が変わり、子供にとっても良い刺激になっているように思います。 ○既製品ではなく、ある物で工夫をして創意工夫をしている所が、子供の想像力や気づきを伸ばしていると思います。 ○子供達の意味を尊重し、生き生きと生活できているように感じます。	A	●その時々における子供達の心情や意欲に寄り添い、関わり、実践を重ねてまいります。 ●既製品ではなく、様々な素材に触れながら、自ら見たり、触れたりしたもので自由に表現し、認めてもらう嬉しさを感じられるような環境を整えてまいります。
		園内は、環境の構成を意識した活動が実践され、指導の方法や過程が工夫されていますか。		100%	
		教材・教具を適切に活用し、創意工夫していますか。		B 0%	
3	行事について	園全体の行事は参加しやすいように日程などが配慮されていますか。(夏祭り、運動会、親子お楽しみ会、生活発表会等)	○子供の命を守ることが最優先です。実施の可否について、十分検討された上での判断だと思います。 ○多くの親御さんの意見を取り入れ、配慮しながら計画や実施をしていると思います。 ○今年はコロナの関係で行事が少なくなり、残念とは思いますが、コロナが落ち着きましたら、また行事を再開していただきたいと思っています。 ○コロナのため今年は残念でしたが、できる限りの事はしていただいたと思います。 ○コロナ禍での行事の実施は大変と思いますが、卒園式は実施予定と伺いうれしく思いました。是非工夫して実施していただきたいです。	A	●コロナ禍の中、例年とは異なる行事の在り方を考え取り組んだ年でした。「新たな生活様式」をあおぞらなないろ園での教育・保育に組み込みながら、子供達の豊かな感性を引き出されるような取り組みを行ってまいります。 ●評価委員の方々より、「展示された作品がすばらしい。」「保護者のみなさんが自分の子供の姿を見ることで安心します。」というお話もいただき、子供達が園でどのような活動をして、どのように過ごしているかの発信も、お知らせできるように工夫してまいります。
		行事のねらいを計画や実施に十分生かしていますか。		83%	
		保護者の願いや意見を取り入れていますか。		B 17%	
				C	
				0%	

評価項目		領域	学校関係者評価 (訪問日)11/27 (評価者)学校評価委員6名		
			コメント: (○成果 ▲課題)	3段階評価	今後の取り組むべき課題
4	体制・学級経営・保健安全指導について	職務内容が明確で、協働できる体制になっていますか。	○保育教諭の不足ということで、職員のみなさんが大変頑張っていると感じました。職員間のコミュニケーションをはかり、共通理解のもと実践していったほしいと思います。 ○コロナ禍で、ますます安心安全が求められる中、みなさんの負担は重くなる一方でしょう。情報を正しく伝えることは、なかなか難しいと思います。こども園が、保護者の不安や心配に寄り添いながら、若い家族を支えていると思います。 ○子供が信頼をよせる先生がいつも見守ってくれています。 ○異年齢の子供とも仲良くできているようで、楽しそうな園での活動がうかがえます。 ○交通安全教室も、おまわりさんが実際に来てくれているため、まじめに学んでいるようです。 ○コロナの関係もありますが、手洗い・うがいの実施や本格的な避難訓練等、安全指導が徹底されていると思います。	A	●新たな職員確保の為の福利厚生改善や、保健・安全確保の為の設置整備を進めてまいります。 ●より良い教育・保育を実践していく為の園内研修の実施、全職員が共通理解を図るための取り組みを行ってまいります。 ●子供達の安心・安全確保の為、私達職員が安全に対する意識を高め、地域や関係機関の方と連携しながら、安心して利用できる施設となるように努めてまいります。
		職員の配置は適材・適所ですか。		100%	
		同年齢及び異年齢児の効果的な活動の充実が図られていますか。		B	
		学年・学級経営に生かされるような具体的な保健対策を講じていますか。		0%	
		避難訓練・交通安全指導等は適切に実施されていますか。		C	
		健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っていますか。		0%	
		乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っていますか。			
5	情報・施設・設備の状況について	乳幼児や保護者に関する個人情報適切に取り扱っていますか。	○掲示場所は、分かりやすい場所にあります。 ○以前よりも掲示板が見やすくなったと思います。 ○ホワイトボードがあることによって、毎日掲示板に目がいくようになり、良いと思います。 ▲③については、保護者アンケートにあるように、確実に伝わる工夫が必要だと感じました。 ▲図書室(給食室のところ)の絵本は、使用したらその都度整理するようにした方がよいと思いました。	A	●「一斉メール」を、実際においても活用すべく準備を進めてまいります。 ●様々な情報については、分かりやすい記入の仕方や掲示を心がけます。 ●絵本の整理については、保育教諭自らが子供達の見本となり、整理整頓を行ってまいります。
		遊具・用具・図書等を、活用しやすいように整理・保管していますか。		100%	
		掲示板、掲示場所等は分かりやすく活用されていますか。		B	
6	家庭・地域社会との連携について	乳幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流していますか。	○3と同様に、子供の命を守る事が最優先です。実施の可否について、十分検討された上での判断だと思います。 ○散歩の時、「おはようございます。」と元気なあいさつをいただきうれしく思いました。 ○南消防署の方との交流も、良い経験となったようです。 ○コロナの関係で減ってしまったのは残念ですが、落ち着いたら少しずつ地域との交流を再開してほしいです。	A	●コロナ禍の為、地域との交流をする機会は減ってしまいましたが、「挨拶」を基本としながら、家庭や地域とのコミュニケーションを深め、信頼関係を構築してまいります。
				地域行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れていますか。	
				B	
				17%	
				C	
	0%				

コロナ禍の中、実施方法を工夫しながら行いました「学校関係者評価」でしたが、励ましのお言葉や見直しを行う機会をいただけたご指摘等について、関係者の皆様より思いをお伺いできましたことに、まずは感謝申し上げます。

幼保連携型認定こども園として運営が始まり2年目、今年度は、市や県より職員を派遣していただき実施しております「サポート事業」や、園内にて実施しました「幼児教育・保育を行う環境」に関する学びを深める研修や視察を経ながら、『あおぞらなないろ園の幼児教育・保育』の質をより向上できるように取り組んでまいりました。

今後も、子供達が健やかに楽しくあそびを通して学びを深め、生き生きと生活していけるよう、保護者や地域の皆様と思いや考えを共有しながら、施設運営に努めてまいりたいと思います。宜しくお願いいたします。